

Wi-Fi／Bluetooth[®]／パソコン接続

11

| | |
|------------------------------------|-------|
| Wi-Fi機能の利用 | P.160 |
| Wi-Fi Directを利用する | P.162 |
| Bluetooth [®] 機能の利用 | P.163 |
| テザリング機能の利用 | P.166 |
| パソコンとUSBケーブルで接続する | P.169 |
| USBストレージを使用する | P.170 |

Wi-Fi機能の利用

Wi-Fiを利用してインターネットへ接続できます。

- 対応周波数帯は2.4GHzです (▶P.21)。
- 本機で対応している無線LAN規格は次のとおりです。
IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n
- 本機で対応している暗号化方式は次のとおりです。
WEP、WPA/WPA2 PSK

アクセスポイントに自動で接続する

1 ホーム画面で「設定」→「Wi-Fi」



が表示され、Wi-FiがONになります。

利用可能なアクセスポイントを自動的にスキャンします。



Wi-Fi設定画面

- 1** 検出されたアクセスポイントが表示されます。
- 2** WPSマークがあるアクセスポイントを登録する場合にタップします (▶P.161)。
- 3** セキュリティで保護されていることを示します。
- 4** 電波強度を示します。
- 5** アクセスポイントを手動で追加します (▶P.161)。

3 接続するアクセスポイントをタップ

- オープンなアクセスポイントをタップした場合は、アクセスポイントに接続されます。

■ セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合

- ① パスワードを入力→「接続」
 - 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、入力したパスワードをそのまま表示します。
 - 「詳細オプションを表示する」にチェックを付けると、プロキシ設定やIP設定（DHCP／静的）などの設定項目を表示できます。

■ Wi-Fi Protected Setup (WPS) を利用して接続する場合（プッシュボタン）

- ① Wi-Fi設定画面で  をタップ
- ② アクセスポイントのプッシュボタンを押す
- ③ 「OK」

■ Wi-Fi Protected Setup (WPS) を利用して接続する場合（WPS PIN）

- ① Wi-Fi設定画面で  → 「WPS PINの入力」
- ② アクセスポイントで本機に表示されるWPS PINを入力

■ お知らせ

- 利用可能なアクセスポイントを手動でスキャンする場合は、Wi-Fi設定画面で  → 「スキャン」をタップします。
- Wi-Fiのスリープ設定をする場合は、Wi-Fi設定画面で  → 「詳細設定」→ 「スリープ時にWi-Fi接続を維持」→ スリープの条件をタップします。
- ホーム画面で「電源管理」ウィジェットの  をタップしても、Wi-Fiをオン／オフにすることができます。

アクセスポイントに手動設定で接続する

非公開に設定されているアクセスポイントに接続する場合は、設定を手動入力する必要があります。

- 設定に必要な情報は、お使いのWi-Fiアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をあらかじめネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。

- 1 Wi-Fi設定画面で 
- 2 ネットワークSSIDを入力→「セキュリティ」欄をタップ→セキュリティ方法を選択→パスワードを入力
- 3 「保存」

Wi-Fi接続を切断する

- 1 Wi-Fi設定画面で切断するアクセスポイントをタップ→「切断」

Wi-Fi接続の状況を確認する

以下で現在のWi-Fi接続の状況を確認できます。

- ステータスバー
本機がWi-Fiで接続している場合、ステータスバーに  が表示され、電波強度が示されます。

- アクセスポイント

Wi-Fi設定画面で、現在接続しているアクセスポイントをタップすると、接続状況、セキュリティ、電波強度などの情報が表示されます。

Wi-Fiの詳細設定をする

Wi-Fiのアクセスポイントを通知する

利用可能なアクセスポイントが検出されたことを通知するように設定できます。

- Wi-FiがONの状態ではWi-Fiのアクセスポイントに接続していない場合に通知します。

- 1 Wi-Fi設定画面で☰→「詳細設定」→「ネットワークの通知」にチェックを付ける
 - 利用可能なアクセスポイントが検出されると、ステータスバーに🔍を表示して通知します。

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiのアクセスポイントに接続するように本機を設定できます。

- 1 Wi-Fi設定画面で接続するアクセスポイントをタップ
- 2 「詳細オプションを表示する」にチェックを付ける
- 3 「IP設定」欄をタップ→「静的」→項目をタップして入力

4 「接続」

Wi-Fi Directを利用する

Wi-Fi Direct対応デバイスどうしを接続し、データのやり取りができます。

- 1 Wi-Fi設定画面で☰→「Wi-Fi Directの設定」
- 2 検出されたデバイスをタップ
 - 検出されたデバイス側で接続を承認すると、Wi-Fi Directで接続されます。

Wi-Fi Directの接続を解除する

- 1 Wi-Fi設定画面で☰→「Wi-Fi Directの設定」
- 2 接続を解除するデバイスをタップ→「OK」

Bluetooth®機能の利用

Bluetooth®対応機器と無線接続して、データの送受信ができます。

- Bluetooth®機能を利用する前に、「Bluetooth®および無線LAN使用に関するご注意」(▶P.20)をよくお読みください。
- 接続する機器の操作については、機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 本機と相手側の機器との通信できる距離は、約100m以内です。ただし、壁などの障害物や電波状況などにより変化する可能性があります。
- 市販されているすべてのBluetooth®対応機器との接続・動作を保証するものではありません。

主な仕様と機能

| 項目 | 説明 |
|---------|-----------------------------|
| 対応バージョン | Bluetooth®標準規格Ver.4.0+EDR準拠 |
| 出力 | Bluetooth®標準規格Power Class 1 |
| 通信距離* | 約100m以内 |
| 使用周波数帯 | 2402MHz~2480MHz |

| 項目 | 説明 |
|----------|--|
| 対応プロファイル | HFP : Hands-Free Profile HSP : Headset Profile PBAP : Phone Book Access Profile OPP : Object Push Profile A2DP : Advanced Audio Distribution Profile AVRCP : Audio/Video Remote Control Profile HID : Human Interface Device Profile PAN : Personal Area Network Profile FTP server : File Transfer Profile SPP : Serial Port Profile |

※：壁などの障害物や電波状況などにより変化する可能性があります。

Bluetooth®機能をONにする

1 ホーム画面で「設定」→「Bluetooth」



が表示され、Bluetooth®機能がONになります。ステータスバーに (グレー)が表示されます。

3 「GLO7S」

本機が検出可能になり、「GLO7S」の下に「周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示 (X : XX)」と表示され、カウントダウンが開始されます。

- 2分を経過すると、検出されなくなります。再度本機を検出可能にするには、「GLO7S」をタップします。
-  → 「表示のタイムアウト」をタップすると、本機を検出可能にする時間を設定できます。

■ お知らせ

- ホーム画面で「電源管理」ウィジェットの  をタップしても、Bluetooth®機能をオン/オフにすることができます。

端末の名前を変更する

他のBluetooth®対応機器で、本機を検出したときに表示される名前を変更します。

- 1 Bluetooth®設定画面で  → 「端末の名前を変更」
- 2 端末の名前を入力 → 「名前を変更」

ペアリング／接続

本機と他のBluetooth®対応機器でデータのやり取りが行えるように、他の機器とペアリング／接続を行います。

他のBluetooth®対応機器とペアリング／接続する

- 1 Bluetooth®設定画面で「デバイスの検索」
「使用可能なデバイス」欄に、検出されたBluetooth®対応機器が一覧表示されます。

2 ペアリング／接続を行う機器をタップ

3 画面の指示に従ってペアリング／接続

「ペアリングされたデバイス」欄にペアリング／接続したBluetooth®機器の名前が表示されます。

- 必要に応じてBluetooth®パスキー（認証用コード）を入力します。データのやり取りを行う機器同士が、同じBluetooth®パスキーを入力する必要があります。Bluetooth®パスキーは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

ペアリング／接続を解除する

1 Bluetooth®設定画面で解除操作を行う

■ Bluetooth®対応機器とのペアリングを解除する場合

- ① 「ペアリングされたデバイス」欄のペアリングを解除する機器名称の 
- ② 「ペアを解除」

■ Bluetooth®対応機器との接続を解除する場合

- ① 「ペアリングされたデバイス」欄の接続を解除する機器名称をタップ
 -  → 「ペアを解除」をタップすると、接続とペアリングの両方を解除できます。
- ② 「OK」

■ お知らせ

- 相手側の機器によっては、 をタップして名前の変更や、プロフィールの設定変更などができます。
-

データの送受信

- あらかじめ本機のBluetooth®機能をONにし、データを送信する相手側の機器とペアリングしておいてください。

データを受信する

- 1 相手側の機器からデータを送信
- 2 ステータスバーにが表示されたら通知パネルを開く
- 3 受信するファイルをタップ→「承諾」
ファイルの受信が開始されます。
受信が完了するとステータスバーにが表示されます。

■ お知らせ

- 本機で受信したデータは、内部ストレージの「bluetooth」フォルダに保存されます。
 - 受信したファイルは、Bluetooth®設定画面で→「受信済みファイルを表示」をタップすると確認できます。
-

データを送信する

連絡先、静止画、動画などのデータを、他のBluetooth®対応機器に送信できます。

- 1 各アプリケーションのメニューから「Bluetooth」
- 2 データを送信する相手側の機器をタップ
相手側の機器で受信操作を行うと、データの送信が開始されます。
送信が完了するとステータスバーにが表示されます。

テザリング機能の利用

テザリング機能を利用すると、他の通信機器から本機のLTE／3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。テザリング機能は、次の3通りの方法で利用できます。

- Pocket WiFi (Wi-Fiテザリング) (➡P.166)
- USBテザリング (➡P.167)
- Bluetooth®テザリング (➡P.168)

■ お知らせ

- 通信にはパケット通信料がかかりますので、ご注意ください。

Pocket WiFi (Wi-Fiテザリング) を利用する

Pocket WiFi (Wi-Fiテザリング) を利用すると、他の通信機器から本機のLTE／3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 対応周波数帯は2.4GHzです (➡P.21)。
- Pocket WiFiで対応している無線LAN規格は次のとおりです。
IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n
- 他の通信機器から本機に同時に接続できるのは、最大8台までです。

1 ホーム画面で「Pocket WiFi」ウィジェットの 部分をクリック

Pocket WiFiが有効になると、ウィジェットがになり、ステータスバーにが表示されます。

- ホーム画面で「設定」→「その他...」→「テザリングとPocket WiFi」→「Pocket WiFi」にチェックを付けても、Pocket WiFiを有効にできません。

■ お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中にPocket WiFiを有効にすると、LTE／3Gパケット通信に切り替わります。
- 本機に接続中の通信機器は、ホーム画面で「設定」→「その他...」→「テザリングとPocket WiFi」→「Pocket WiFi設定」をタップし、「接続されたデバイス」欄で確認できます。
- 本機に接続できる通信機器の数を変更する場合は、ホーム画面で「設定」→「その他...」→「テザリングとPocket WiFi」→「Pocket WiFi設定」→「Pocket WiFi設定」→「許可されている最大接続数」欄をタップ→許可する通信機器の数を選択→「保存」をタップします。

ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認する

お買い上げ時は、ネットワークSSIDは「GL07S-PocketWiFi」、暗号化方式（セキュリティ）は「WPA2 PSK」、パスワードは端末ごとに異なる8桁の数字が設定されています。

- Pocket WiFiで設定できる暗号化方式はWPA2 PSKです。

1 ホーム画面で「Pocket WiFi」ウィジェットの ■部分をタップ→「Pocket WiFi設定」→ 「Pocket WiFi設定」

Pocket WiFi設定画面が表示されます。

- ホーム画面で「設定」→「その他...」→「テザリングとPocket WiFi」→「Pocket WiFi設定」→「Pocket WiFi設定」をタップしても、Pocket WiFi設定画面を表示できます。

2 ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認

- 「パスワードを表示する」にチェックを付けると、パスワードが表示されます。

■ ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を変更する場合

- ① ネットワークSSIDおよびセキュリティ（パスワード）を変更→「保存」

■ お知らせ

- 「データの初期化」（▶P.232）を行うと、パスワードも初期化されます。

USBテザリングを利用する

USBケーブルを使用して、本機と他の通信機器を接続します。設定を行うと、他の通信機器から本機のLTE／3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 本機との接続のしかたや接続可能なパソコンの動作環境は、「パソコンとUSBケーブルで接続する」（▶P.169）をご参照ください。
- Windows Vista、Windows 7、Windows 8をお使いになるときは、そのまま接続して利用できます。Windows XPをお使いになるときは、あらかじめウェブ上から最新のMicrosoft ActiveSyncをダウンロードし、お使いのパソコンにインストールしてください。

1 本機と通信機器をUSBケーブルで接続

- 「USBでパソコンに接続」画面が表示された場合は、をタップして画面を閉じてください。

2 ホーム画面で「設定」→「その他...」→「テザリングとPocket WiFi」

- 「USBテザリング」の下にUSB接続済みであることが表示されていることを確認してください。

3 「USBテザリング」にチェックを付ける

ステータスバーにが表示されます。

■ USBテザリングの設定を解除する場合

- ① 「USBテザリング」のチェックを外す
- ② 通信機器側で本機の安全な取り外しを行う
- ③ USBケーブルを取り外す

■ お知らせ

- USBテザリング設定中は、メディアデバイス（MTP）（ P.169）、カメラ（PTP）（ P.170）を利用して、パソコンとのデータのやり取りはできません。
- お使いのパソコンのOSによっては、接続可能になるまで時間がかかることがあります。

Bluetooth®テザリングを利用する

Bluetooth®機能を使用して、他の通信機器から本機のLTE／3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- Bluetooth®対応機器からの操作については、お使いの機器の取扱説明書などをご参照ください。
- ご利用になるBluetooth®対応機器によっては、操作が異なる場合があります。

1 Bluetooth®機能をONにする

Bluetooth®機能をONにするとステータスバーにが表示されます。

- 「Bluetooth®機能をONにする」（ P.163）をご参照ください。

2 ホーム画面で「設定」→「その他...」→「テザリングとPocket WiFi」

3 「Bluetoothテザリング」にチェックを付ける

4 Bluetooth®対応機器から本機へのペアリング操作を行う

Bluetooth®のペア設定リクエスト画面が表示されます。

■ Bluetooth®対応機器とペアリング済みの場合

- ① Bluetooth®対応機器から本機への接続操作を行う
 - 本機とBluetooth®対応機器が接続されます。

5 「ペア設定する」

- Bluetooth®対応機器側もペア設定を行います。

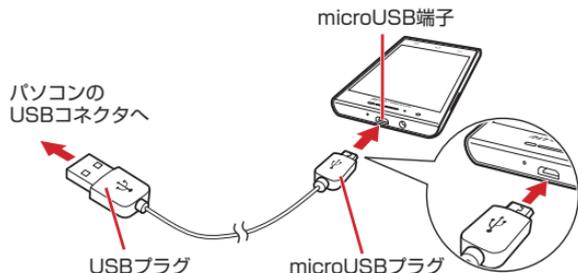
6 Bluetooth®対応機器から本機への接続操作を行う

■ Bluetooth®テザリングの設定を解除する場合

- ① Bluetooth®対応機器から切断の操作を行う
- ② 「Bluetoothテザリング」のチェックを外す

パソコンとUSBケーブルで接続する

付属のUSBケーブルを使用して、本機とパソコンなどの外部機器を接続します。



- 本機と接続可能なパソコンの動作環境は次のとおりです。

| 項目 | 説明 |
|---------------|--|
| パソコン本体 | USBポートを搭載したPC-AT互換機 |
| OS | Windows 8 (32ビットおよび64ビット)、Windows 7 (32ビットおよび64ビット)、Windows Vista (32ビットおよび64ビット)、Windows XP (SP3以降/32ビット)の各日本語版 |
| メモリ容量* | 64Mバイト以上 (128Mバイト以上を推奨) |
| ハードディスクの空き容量* | 64Mバイト以上 |

※：動作に必要なメモリ容量、ハードディスクの空き容量です。

本機をデジタルオーディオデバイスとして使用する

本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、MTP (Media Transfer Protocol) モードにすると、音楽や動画などのメディアデータを本機に転送できます。

- Windows XPをお使いになるときは、あらかじめイー・モバイルのホームページからドライバをダウンロードし、お使いのパソコンにインストールしてください。
- Windows Media Player 10 (またはそれ以降のバージョン) がパソコンにインストールされている必要があります。

1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続

「USBでパソコンに接続」画面が表示されます。

2 「メディアデバイス (MTP)」

「メディアデバイスとして接続」とメッセージが表示されます。

3 パソコンでWindows Media Playerを起動し、同期操作を行う

■ メディアデバイス (MTP) の操作を終了する場合

- ① パソコン側のタスクトレイで本機の安全な取り外しを行う

■ お知らせ

- 著作権が保護されているデータを本機に転送すると、再生できない場合があります。また、データを本機以外に転送すると、再生できない場合があります。

本機をデジタルカメラとして使用する

本機とパソコンをUSBケーブルで接続して、PTP (Picture Transfer Protocol) モードにすると、本機で撮影した静止画や動画をパソコンに転送できます。

- 1 本機とパソコンをUSBケーブルで接続**
「USBでパソコンに接続」画面が表示されます。
 - 2 「カメラ (PTP)」**
「カメラとして接続」とメッセージが表示されます。
 - 3 パソコンを操作して、内部ストレージとデータをやり取りする**
 - パソコンからは、内部ストレージの「DCIM」 / 「Pictures」フォルダに保存されているデータにアクセスできます。
- **カメラ (PTP) の操作を終了する場合**
- ① パソコン側のタスクトレイで本機の安全な取り外しを行う

USBストレージを使用する

ホスト機能付きUSBケーブルを使用して本機にUSBストレージを取り付けると、USBストレージに保存されているデータを使用できます。

- 市販されているUSBストレージなどの機器との接続・動作を保証するものではありません。

USBストレージのマウントを解除する

USBストレージの認識を解除して本機から安全に取り外せるようにします (マウント解除)。

- 1 ホーム画面で「設定」**
- 2 「ストレージ」 → 「“USBストレージのマウントを解除”」**
 - メッセージが表示されます。内容をご確認ください。
- 3 「OK」**

■ お知らせ

- USBストレージのマウントを解除すると、USBストレージのデータを再生したり、USBストレージにデータを保存したりできなくなります。

USBストレージをフォーマットする

USBストレージをフォーマット（初期化）します。

- フォーマットを行うと USB ストレージ内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で「設定」

2 「ストレージ」 → 「USBストレージ内データの消去」 → 「USBストレージ内データを消去」

3 「すべて消去」

フォーマットが終了すると自動的にマウントされ、USBストレージが使用可能な状態になります。

- 消去されたデータは元に戻せません。